

3-2

動詞の活用の種類① 四段活用

POINT!

四段活用は活用語尾が「(1) a・i・u・e」の四段を使って変化する。

							a段
							i段
							u段
							e段
							o段
命令	已然	連体	終止	連用	未然		
					a		
				i			
		u	u				
	e	e					

例 カ行四段活用

基本形	語幹	未然形	連用形	終止形	連体形	已然形	命令形
聞く	き	か(2) -a()	き(3) -i()	く(4) -u()	く(5) -u()	け(6) -e()	け(7) -e()
下に続く主な語		むず	てたり	(言い切る)	こと	ばど	(命令で 言い切る)

「ず」に続けて未然形にしたとき、活用語尾が(8) a段()になるのが四段活用。

例

思ふ ↓ 思は(ず)
求む ↓ 求め(ず)

「は(ha)」はa段なので四段活用。

「め(me)」はe段なので四段活用ではない。

EXERCISE

傍線部の四段活用の動詞の活用の種類と活用形を、「●行四段活用 ●形」という形で答えなさい。

- (1) おろかにせんと思はんや。
- (2) 梓弓引けど引かねど昔より

解答解説

(1) 基本形は「思う」ではなく「思ふ」なので八行。

「思は」と「a段」になるのは四段活用では未然形だけ。

答え 八行四段活用未然形

(2) 四段活用の動詞は次のどちらかの条件に当てはまれば已然形と判断できる。

- ・「ど」「ども」に続いている
- ・「e段」で終わり、命令の意味がない

この問題の「引け」はどちらにも当てはまっている。

答え カ行四段活用已然形

宇治拾遺物語①「児のそら寝」

POCKET

1 『宇治拾遺物語』について

『宇治拾遺物語』は(1)鎌倉時代初期(十三世紀初め)に成立したと
考えられている(2)説話集である。作者は不明。

説話集とは古くから伝えられた物語や言い伝えを集めたジャンルで、他
には『今昔物語集』『十訓抄』などが有名である。

2 登場する語句

今は昔	(3) 今となつては昔のこと	おどろかす	(9) 起こす、目を覚ます
比叡 <small>ひゑ</small> の山	(4) 比叡山延暦寺	いらへむも	(10) 返事をするのも
しいださむを	(5) 作りあげるのを	念じて	(11) 我慢して
すでに	(6) 早くも	なぐそ	(12) ししてはいけない
ひしめきあひ	(7) 騒ぎ合つて	くかし	(13) (念押しして)しよ
さだめて	(8) きつと	無期 <small>むぎ</small> ののち	(14) 長時間たったあと

3 「児のそら寝」のあらすじ

ある晩、比叡山延暦寺で僧たちがぼたもちを作っていた。寺に住む子
ども(児)は寝たふりをしてぼたもちを待っていたが、呼ばれてすぐに
返事をするのが格好が悪いと思ひ、しばらく寝たふりを続けていた。する
と僧たちは子どもを気づかして起こすのをやめ、自分たちだけでぼたも
ちを食べ始めてしまった。子どもは我慢できずに「はい」と返事をしたが、
呼ばれてからだいたいぶたっていたので笑われてしまった。

EXERCISE

- (1)、(2)の現代語での意味として、もつとも適切なものをア～エから選び、記号で
答えなさい。
- (1) な起こしたてまつりそ。 イ 何度でも起こし申し上げろ。

ア すぐに起こし申し上げろ。 エ もう起こし申し上げた。

- (2) 無期ののちに、「えい。」といらへたりければ、

ア 長時間たったあとに「はい。」と返事をしたけれど、

イ 長時間たったあとに「はい。」と返事をしたので、

ウ 最後まで「はい。」と返事をしなかったなら、

エ 最後まで「はい。」と返事をしなかったので、

解答解説

- (1) 「なぐそ」は「ししてはいけない」という禁止を表す表現。

答え ウ

- (2) 「無期ののちに」は「最後まで」ではなく「長時間たったあと」という意
味なので、答えはアかイにしばらくられる。

「くければ」は「已然形(けれ) + ば」なので、「順接の確定条件」。「し
たので」という意味で、答えはイ。

答え イ

「宇治拾遺物語 児のそら寝」を読んで、あとの問いに答えなさい。

これも今は昔、**比叡の山**に^① 児ありけり。僧たち、**a** よひのつれづれに、
「いざ、**かいもちひせむ**。」と **b** 言ひけるを、この児、心よせに聞きけり。さ
りとして、^② しいださむを待ちて寝ざらむも、**わろかりなむ**と思ひて、
かたかたに寄りて、寝たるよしにて、いでくるを待ちけるに、すでにしいだ
したるさまにて、**A** ひしめきあひたり。
この児、^③ さだめておどろかさむずらむと **c** 待ちぬたるに、僧の、「もの申
しさぶらはむ。おどろかせたまへ。」と言ふを、うれしとは思へども、ただ一
度に **d** いらへむも、待ちけるかともぞ思ふとて、**あ** いまひとこそ呼ばれていら
へむと、念じて寝たるほどに、「^④ や、な起こしたてまつりぞ。をさなき人は
寝入りたまひにけり。」と言ふ **e** こそゑのしければ、**あなわびし**と思ひて、^④ **い**
ま一度起こせかしと思ひ寝に聞けば、**ひしひし**とただ **f** 食ひに食ふ音のしけ
れば、**ずちなくて**、**無期ののちに**、「**えい**。」と **B** **いらへたり**ければ、^⑤ **僧たち**
わらふことかぎりなし。

(1) は何という寺のことを指すのか。寺名を漢字三文字で答えなさい。

(2) 点線部 **a**、**f** を現代仮名づかいに直し、すべてひらがなで書きなさい。

(3) 傍線部①と同じ人物を指す文中のことばを、五文字で抜き出しなさい。

(4) 傍線部②～④の現代語での意味として、もっとも適切なものを **A**、**E** から選び、
記号で答えなさい。

② **A** 作りあげるのを待つて寝たふりをするのも

I 作りあげるのを待つて寝ないのも

ウ 出してあげるのを待つて寝てしまうのも

E 出してあげるのを待つて寝かせないのも

③ **A** 決まって起こしてくれるものだよ

I きつと起こしてくれるだろう

ウ 相談して驚かせようとしているのだなあ

E 間違いなく驚かせるつもりなのだろう

④ **A** 今すぐ起こしてくれよ

I もう一度起こしてくれよ

ウ 今すぐに起こさなかったのだよ

E もう一度起こさなかったのだよ

(5) 二重傍線部 **A** と **B** の主語を **A**、**E** から選び、それぞれ記号で答えなさい。

A 児 **I** 僧たち **ウ** かひもちひ **E** よひ

(6) 波線部⑥のように児が考えた理由と、僧が波線部⑦のようにふるまった理由を、ア～エから選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア 僧たちに十分な「かいもちひ」があるかどうか確かめたかったから。
 イ 起きていたのに返事をしなかったことを叱責されと思ったから。

ウ すぐ返事をする、「かいもちひ」を少ししかもらえないと思ったから。
 エ すぐ返事をする、寝たふりをしていたことがばれると思ったから。

② ア 児が限りなく寝たあとに「えい。」と言ったから。

イ 児がもう一度起こしてくれと叫んだから。

ウ 児が寝ぼけて大声で返事をしたと思ったから。

エ 児が間の抜けたタイミングで返事をしたから。

(7) 波線部⑧の「なゝそ」は文法的にはどのような意味を表すか。もつとも適切なものをア～エから選び、記号で答えなさい。

ア 感動 イ 過去 ウ 禁止 エ 意志

(8) この話の主題としてもつとも適切なものを、ア～オから選び、記号で答えなさい。

ア 児の食欲旺盛さが思わぬ計算違いを招く教訓話

イ 児が僧たちに過剰な思いやりを持つことで混乱を招いた失敗談

ウ 児が体面を保とうとしてかえって失敗をした滑稽話

エ 児の入念な計画が思わぬ偶然の連続で崩れてしまう失敗談

オ 児と僧たちのお互いの思いやりがすれ違うことで起こった悲話

EXERCISE

1 「児のそら寝」を読んで、あとの問いに答えなさい。

これも □、^a比叡の山に ^b児ありけり。僧たち、よひのつれづれに、「いざ、かいもちひせむ。」と言ひけるを、この児、心よせに聞きけり。さりとして、しいださむを待ちて ^c寝ざらむも、^①わろかりなむと思ひて、かたかたに寄りて、寝たるよしにて、いでくるを待ちけるに、^②すでにしいだしたるさまにて、ひしめきあひたり。

この児、さだめておどろかさむずらむと待ちるたるに、僧の、「もの申しさぶらはむ。おどろかせたまへ。」と言ふを、^③うれしとは思へども、ただ一度にいらへむも、^④待ちけるかともぞ思ふとて、いまひとこゑ呼ばれていらへむと、念じて寝たるほどに、「や、□起こしたてまつり□。^dをさなき人は寝入りたまひにけり。」と ^e言ふこゑのしければ、^⑤あなわびしと思ひて、いま一度起こせかしと思ひ寝に聞けば、ひしひしとただ食ひに食ふ音のしければ、^fずちなくて、^⑥無期ののちに、「えい。」と ^eいらへたりければ、^⑦僧たちわらふことかぎりなし。

- (1) この問題文について、出典を漢字六文字で答えなさい。
- (2) 本文中の に当てはまる、「今となっては昔のこと」という意味の三文字の言葉を答えなさい。
- (3) 点線部 **a** ～ **e** を漢字はひらがなに直し、現代仮名づかいで書きなさい。
- (4) 傍線部①は「よくないだろうと思って」という意味だが、よくないと思ったので児はどのような行動をとったのか。記述して答えなさい。
- (5) 傍線部②、④の現代語での意味として、もっとも適切なものを **A** ～ **E** から選び、記号で答えなさい。
- ② **A** すつかり (僧たちを) だましてしまったつもりで
- I** すつかり (児を) 忘れてしまった様子で
- ウ** 早くも (ぼたもちを) 作りあげてしまった様子で
- E** 早くも (僧も児も) 眠り込んでしまった様子で
- ④ **A** (自分を起こすのを) 待っていたのではないかと考えて
- I** (ぼたもちができるのを) 待っていたと思うかもしれないと考えて
- ウ** (自分が寝るのを) 待たせてはいけないと思われると考えて
- E** (ぼたもちを作るのを) 待ってもらわなければならないと考えて
- (6) 傍線部③、⑤の主語は誰か。文中の語句でそれぞれ答えなさい。
- (7) 二重傍線部が「起こし申し上げてはいけない」という意味になるように、 に当てはまる語を、それぞれひらがな一文字で書きなさい。

- (8) 児が波線部⑥のように思ったのはなぜか。また、僧が波線部⑦のようにふるまったのはなぜか。それぞれ記述して答えなさい。

- (9) この話の主題としてもっとも適切な発言をしている生徒を **A** ～ **E** から選び、記号で答えなさい。

A 「この話の主題は僧たちが少年の心をつかもうとして失敗した滑稽味だね。」

I 「いや、お腹をすかせた少年の食欲の旺盛さが思わぬ計算違いを招く滑稽味でしょ。」

ウ 「私は、僧たちの心づかいが逆に少年の早合点を生んだ滑稽味だと思うな。」

E 「そうかな、少年が体面を保とうとしてかえって失敗した滑稽味が主題だと思うよ。」

- 2** 『宇治拾遺物語』について説明した次の文の、空欄に当てはまる言葉を、それぞれ解答欄の字数で書きなさい。

『宇治拾遺物語』は

時代初期に成立した、作者不明の作品で

ある。古くから伝えられた物語や言い伝えを集めたこのようなジャンルは

とよばれている。